

証券コード:2499



平成18年度(平成19年4月期)

# 決算説明資料

平成19年(2007)6月12日

日本和装ホールディングス株式会社



**「きもの安心宣言」は  
正しかったのか？**



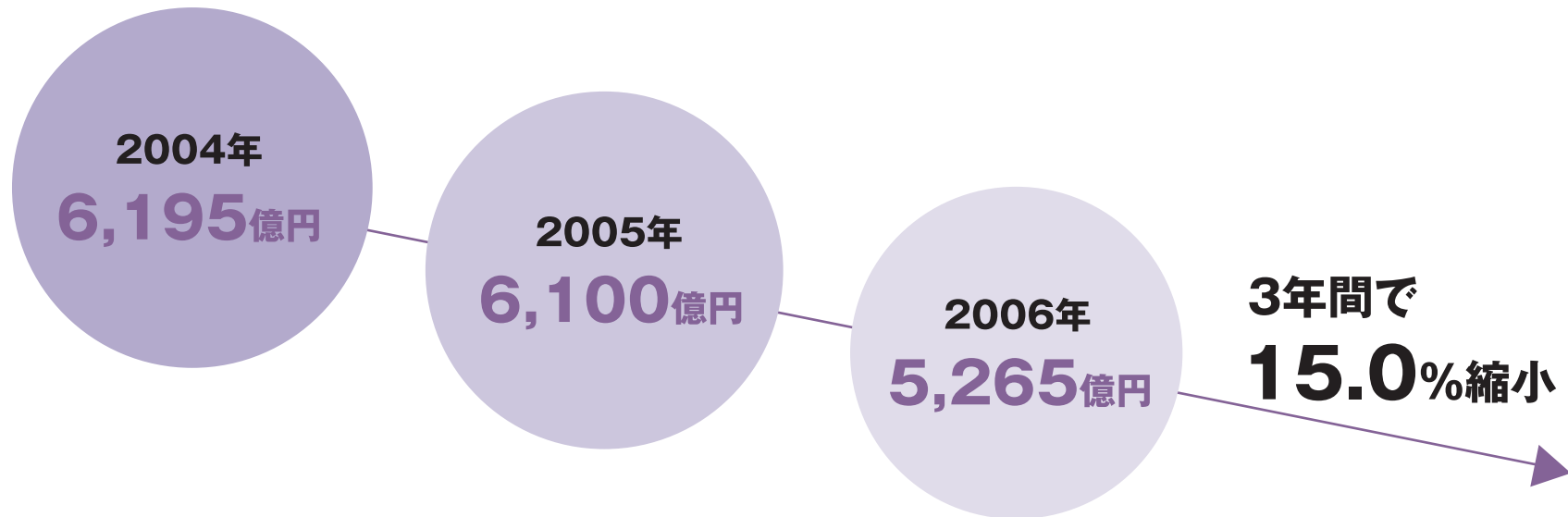


- 1、価値のわからない品の販売からお客様を守ります。
- 2、不適切な価格の品の販売からお客様を守ります。
- 3、変更・取り消しのきかない販売からお客様を守ります。

**当社が「きもの安心宣言」を掲げたのは  
2006年11月27日。**

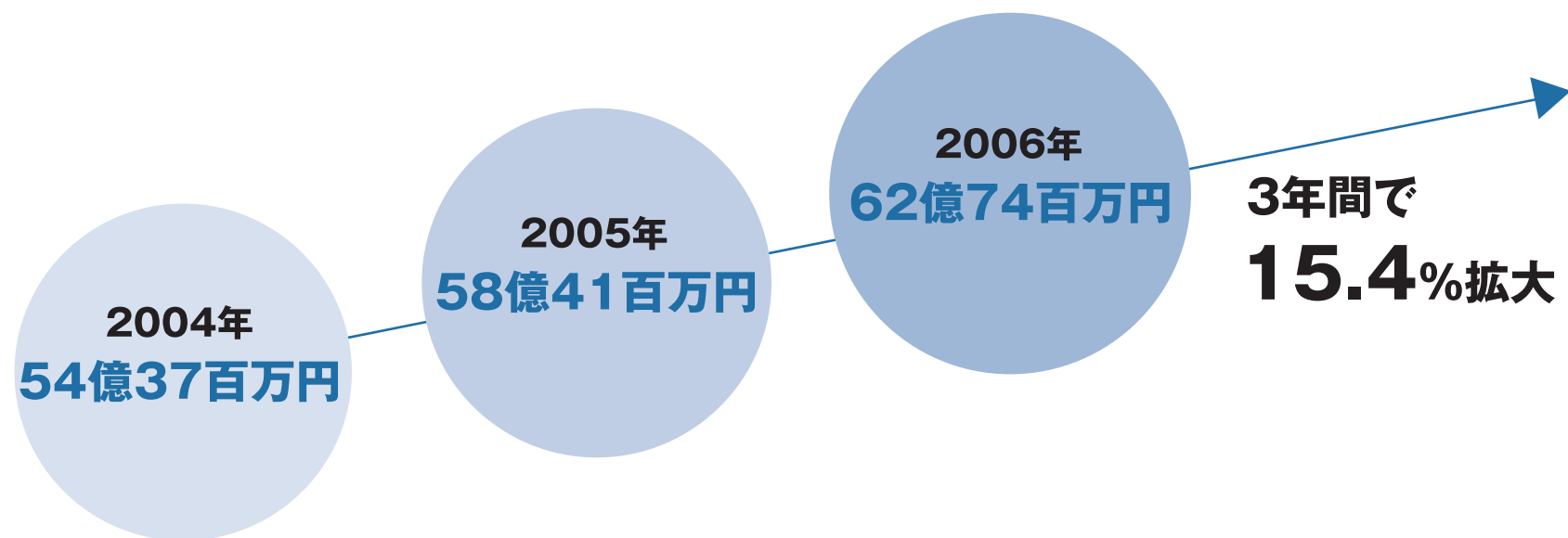
**2007年1月現在、協力企業69社が賛同。  
しかしこれは、従来からの当社の方針を  
改めて明文化したに過ぎない。**

## 縮小する「きもの小売市場規模」



※矢野経済研究所「きもの産業白書2007年版」

## きもの単一セグメントで拡大する「当社売上高」



## 平成19年4月期(第21期)決算【要点】(非連結)

一部企業による“きもの過量販売の社会問題化”の中、  
前年度比 増収を確保するも微減益

- 売上高 前事業年度から 4億32百万円(7.4%)増加[第18期※以来4期連続]
- 経常利益 前事業年度から 93百万円(8.8%)減少[第18期※以来初めて]
- 当期純利益 前事業年度から 47百万円(8.2%)減少[第18期※以来初めて]
  
- 通期配当1株当たり1,239円  
(普通配当1,032円34銭+記念配当206円66銭)

※第18期において、吉田重久の個人事業の営業譲受及び関連会社の吸収合併による事業統合により、現在の当社の事業内容が構築されております。



## 平成19年4月期(第21期)決算【概要】(非連結※)

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

	通期実績		平成18年 4月期実績	増減		通期見通し	差異
	上期実績	下期実績					
売上高	6,274	2,837	5,841	+432	+7.4%	6.614	△340
営業利益	998	255	1,052	△54	△5.2%	—	—
経常利益	969	227	1,063	△93	△8.8%	1.168	△199
当期純利益	530	121	577	△47	△8.2%	634	△103

※当社は平成19年3月1日、当社100%出資の子会社、日本和装ホールセラーズ(株)を設立しておりますが、連結業績に与える影響はまだまだ軽微であるため、非連結での決算を提示しております。

(-は2007.3.12時点での公表項目に含まれないもの)

## 売上高・経常利益（非連結）前年同期比 増減分析

(単位:百万円、百万円未満切り捨て)

### ●売上高

・手数料売上高	+282百万円
・加工料売上高	+143百万円
・小物売上高	+ 14百万円
・その他売上高	△ 8百万円
<hr/>	
(合計)	+432百万円

### ●経常利益

・売上高増加	+432百万円
・売上原価増加	△ 82百万円
・販売費及び一般管理費増加	△404百万円 ※次ページ
・営業外収益減少	△ 4百万円
・営業外費用増加	△ 34百万円
<hr/>	
(差し引き)	△ 93百万円

## 【補足】「販売費及び一般管理費」増加要因分析

■ 前年対比404百万円の増加のうち、「広告宣伝費」の増加分が215百万円、53.3%を占めています。

■ 「広告宣伝費」を前年対比24.0%増額した理由

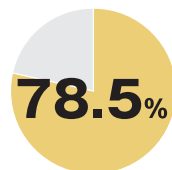
〈理由1〉

2006年において、きもの小売市場規模は5,265億円。一部企業による過量販売の社会問題化により、前年の6,100億円と比べ「13.7%」もの縮小(※1)。きもの業界全体のためにも、当社が広告宣伝予算を積極的に執行することが必要と判断しました。

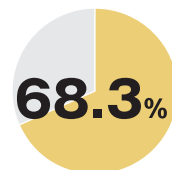
〈理由2〉

「日本和装」の認知率はまだ「62.0%」(※2)であり、認知率向上のためにも、広告宣伝費の増額は妥当であると考えます。

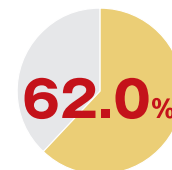
着付教室認知率



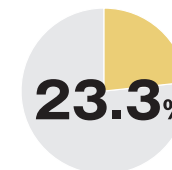
ハクビ京都きもの学園



長沼静きもの学院



日本和装



装道礼法きもの学院

※1 根拠データは矢野経済研究所『きもの産業白書 2007年版』による。

※2 2007年2月16～20日、関東圏の20～50代女性(各年齢層100名ずつ)合計400名に対する調査結果。(株)電通及び(株)電通リサーチの実施による。

## 平成20年4月期(第22期)業績予想【要点】(非連結※)

- **売上高**:着付教室応募者数増加と、「きもの一日大学」等、イベントの強化により、引き続き増収を見込む  
**+3億95百万円(+6.3%)**
- **利益**:引き続き積極的に広告宣伝等の活動に取り組むべき局面と判断する
  - ・**営業利益**      **-28百万円(-2.8%)**
  - ・**経常利益**      **+10百万円(+1.0%)**
  - ・**当期純利益**   **±0円(±0%)**
- **配当**:1株当たり通期1,200円を予定

※当社は平成19年3月1日、当社100%出資の子会社、日本和装ホールセラーズ(株)を設立し、同年6月1日、同じく当社100%出資の子会社、日本和装クレジット(株)を設立しておりますが、連結業績に与える影響はまだまだ軽微であると見込まれるため、非連結での業績予想を提示しております。

## 平成20年4月期（第22期）業績予想【概要】（非連結）

（単位：百万円、百万円切り捨て）

	平成20年 4月期	平成19年 4月期	増減		平成20年 4月期上期※	平成19年 4月期上期	増減	
売上高	6,670	6,274	395	+6.3%	3,010	2,837	172	+6.1%
営業利益	970	998	△28	△2.8%	260	255	4	+1.7%
経常利益	980	969	10	+1.0%	260	227	32	+14.5%
当期純利益	530	530	0	±0%	140	121	18	+14.9%

※平成19年4月期の上期におきましては上場関連費用を計上しましたが、平成20年4月期の上期にはその費用は発生しませんので、結果として、平成20年4月期の上期におきましては、平成19年4月期の上期と比べ、経常利益が増加することが見込まれます。

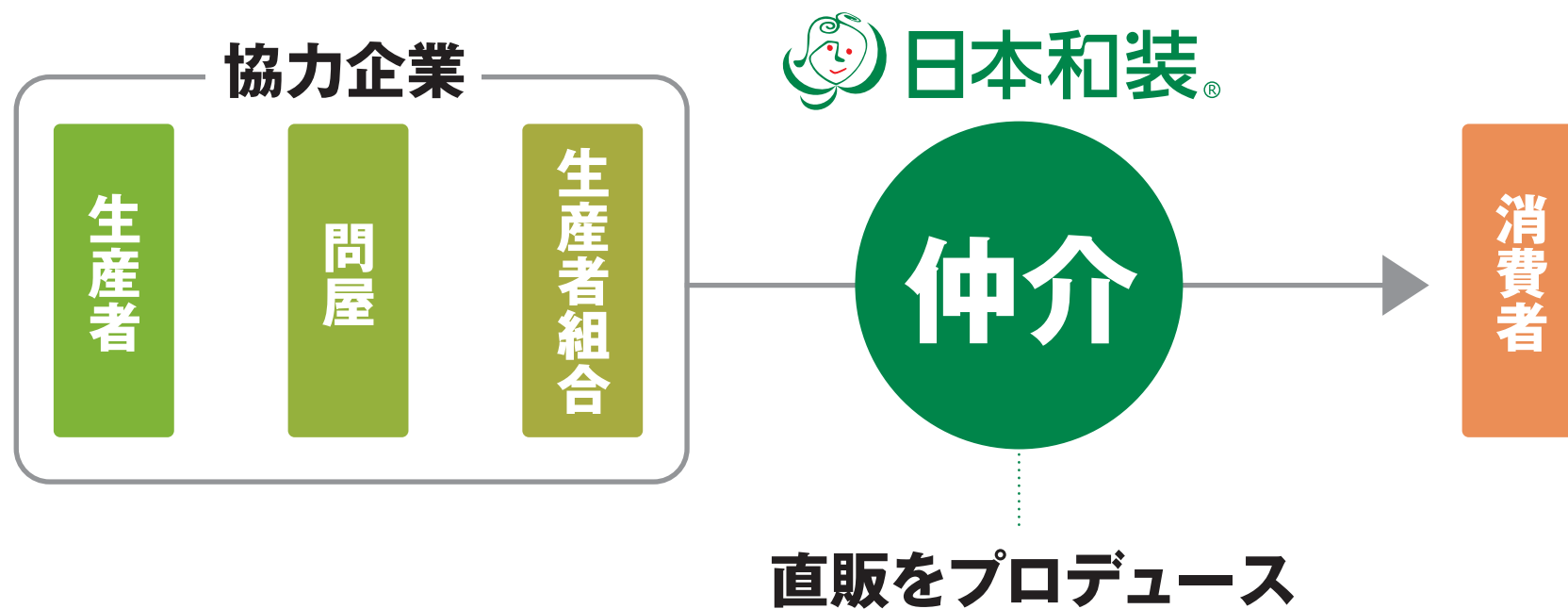
## きもの業界の現状の流通形態



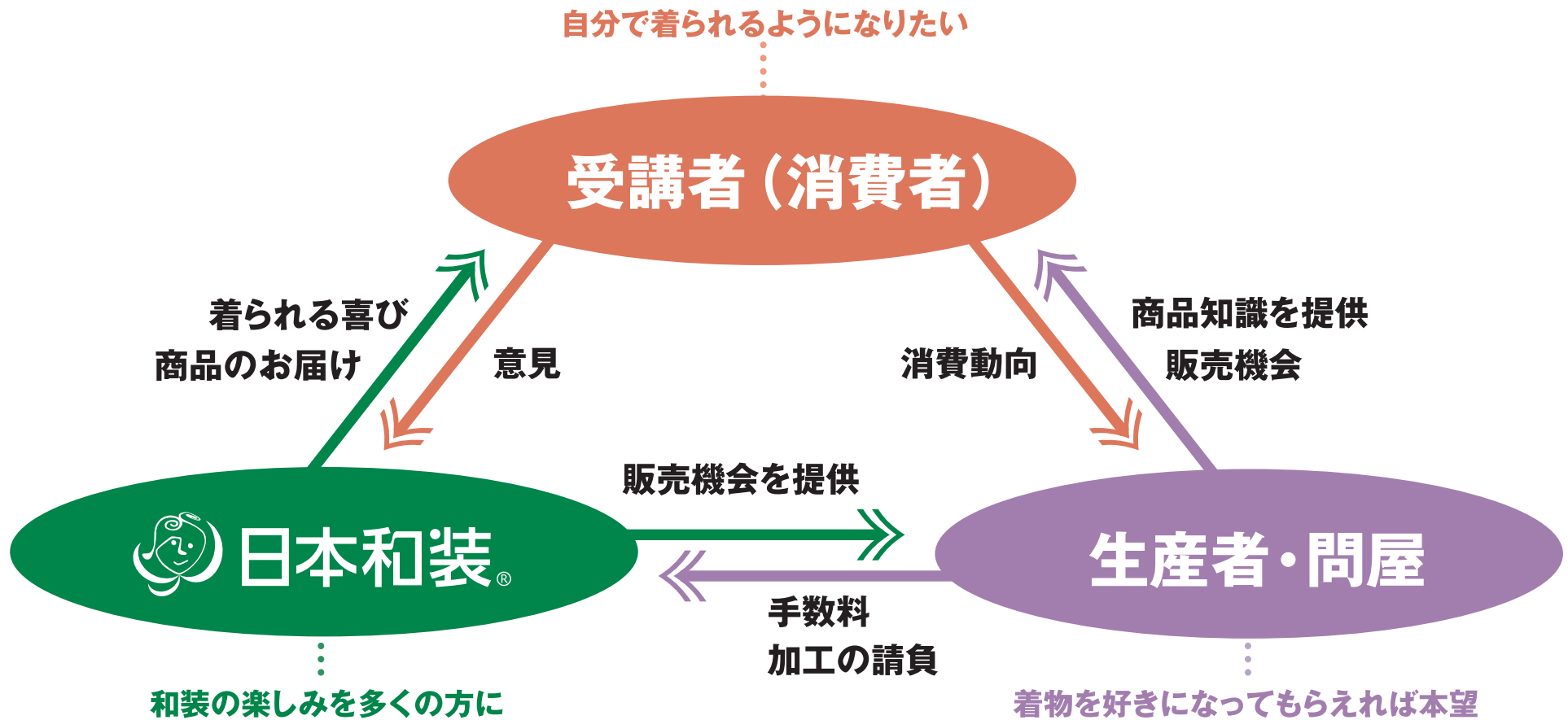
産地問屋 (=集産地問屋) とは？

小単位数 (月に1~5点) の生産者から  
全てを買い取る機能をもつ問屋

## 日本和装が考える流通形態

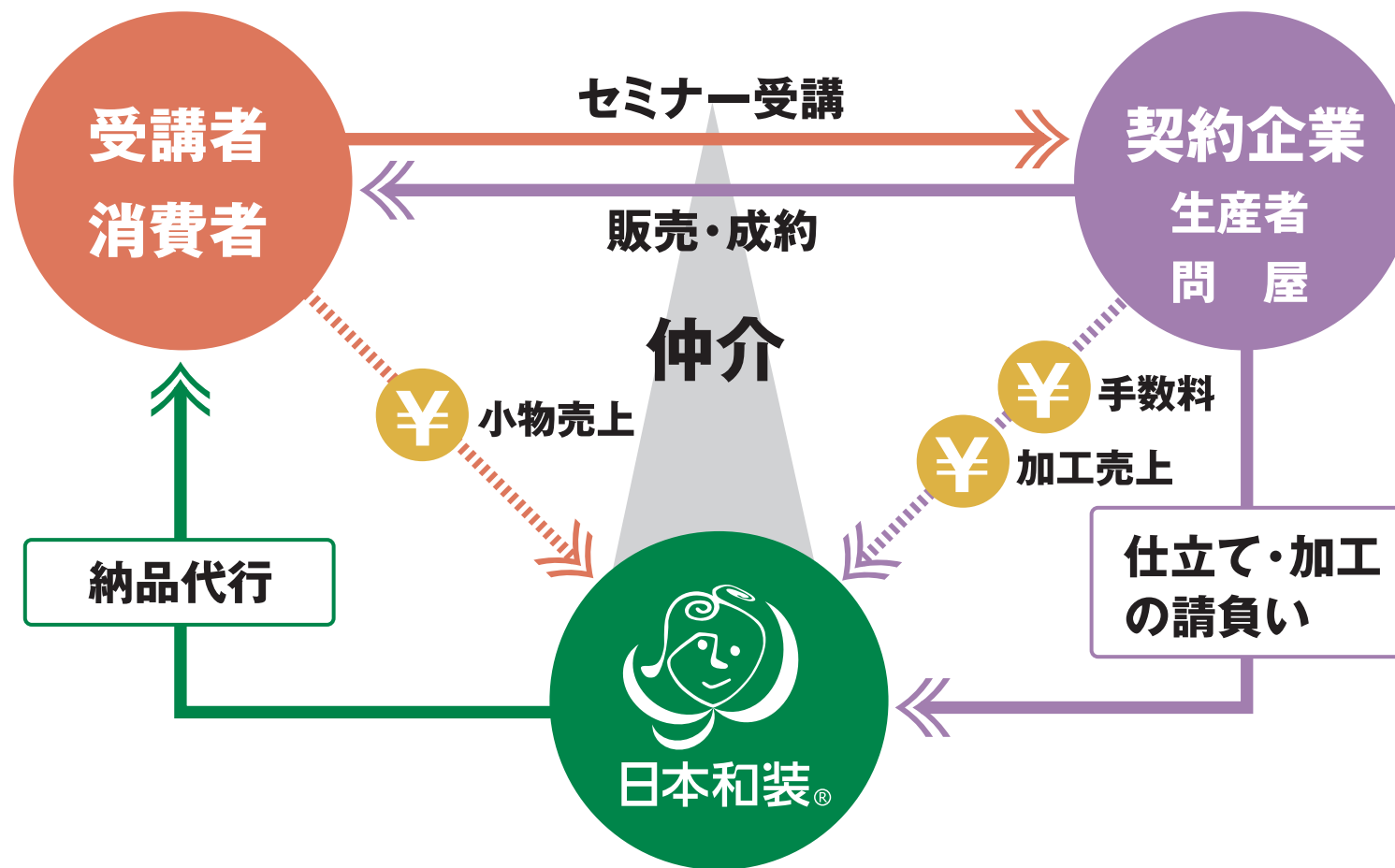


# 日本和装のしくみ





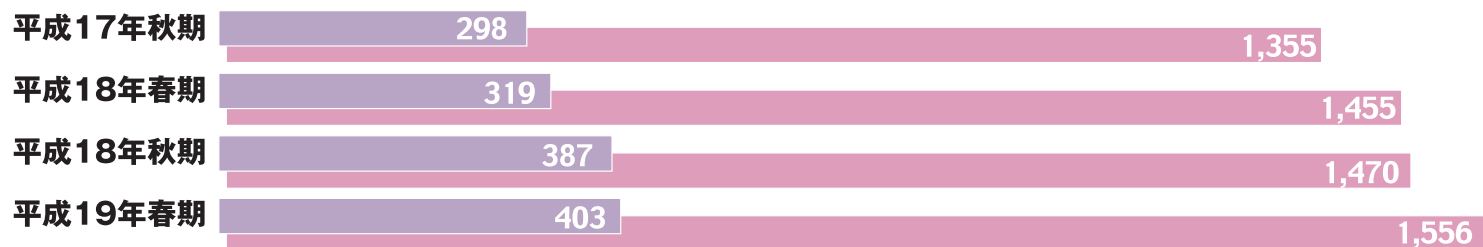
## 日本和装の収益構造



# 拡大する日本和装の着付教室

「4カ月間無料きもの着付教室」の教室数・クラス数・受講応募者数の推移

■教室(会場)数 ■クラス数



■受講応募者数



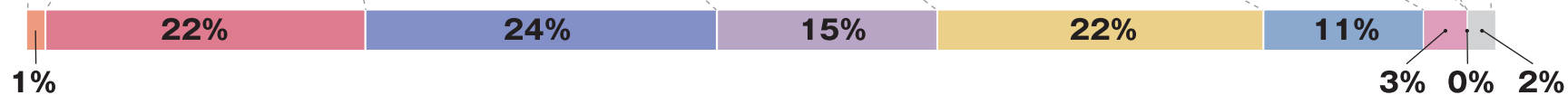
# 受講応募者の年齢層別割合

無料着付教室に集まるのは幅広い世代の“普通の女性”です

■平成17年「国勢調査」全国女性総人口(6,569万500人)年齢層別割合



■平成19年春期「4ヵ月間無料きもの着付教室」受講応募者(2万2,017人)年齢層別割合



## 日本和装がDMを送れる対象数

# 17万5,226件

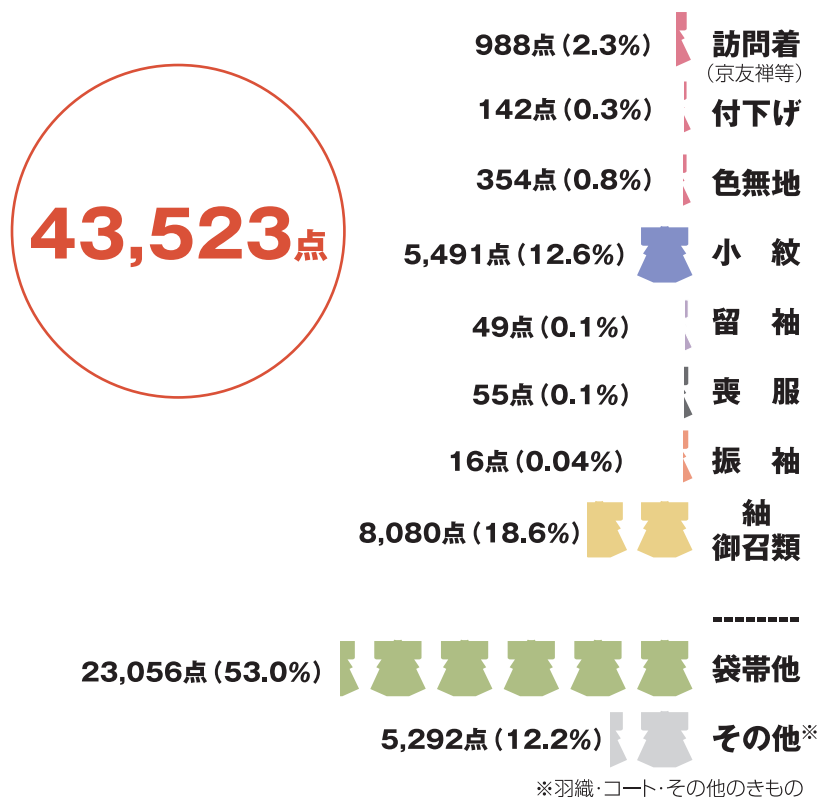
日本和装「4ヵ月間無料きもの着付教室」は昭和62年（1987）のスタートから20年の歴史を持ちます。この教室修了生を主な対象として年4回、無料送付される会報誌「KOSODE」の1号当たり送付件数は「約12万8,000件」にのぼっています。また、注目すべきは、当社からのダイレクトメール等を受け取ってくれる対象数つまりは「**個人情報利用可能件数**」です。この対象として、当社が確保している件数は「17万5,226件」（平成19年1月19日現在）です。



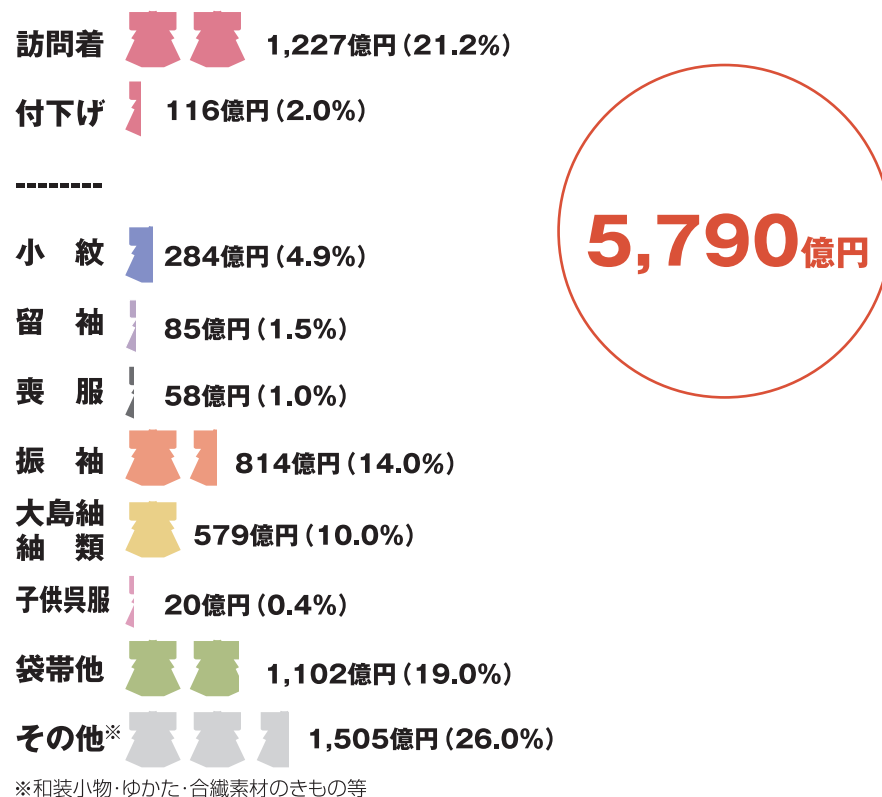
# 日本和装での購入アイテムの実態

## 小売市場との比較から見る、一般消費者の新しいニーズと可能性

日本和装主要アイテム別取扱い点数とその割合  
(平成19年4月期) (長襦袢・足袋・腰紐・帯枕等の小物は除く)

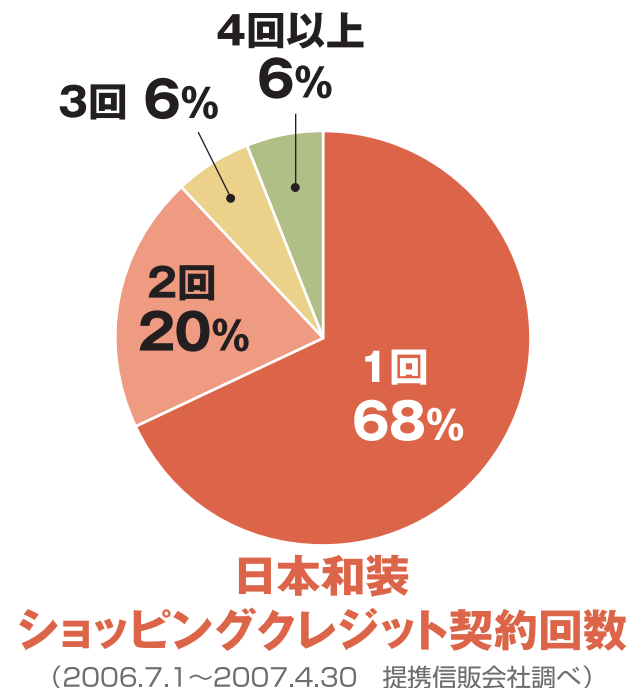
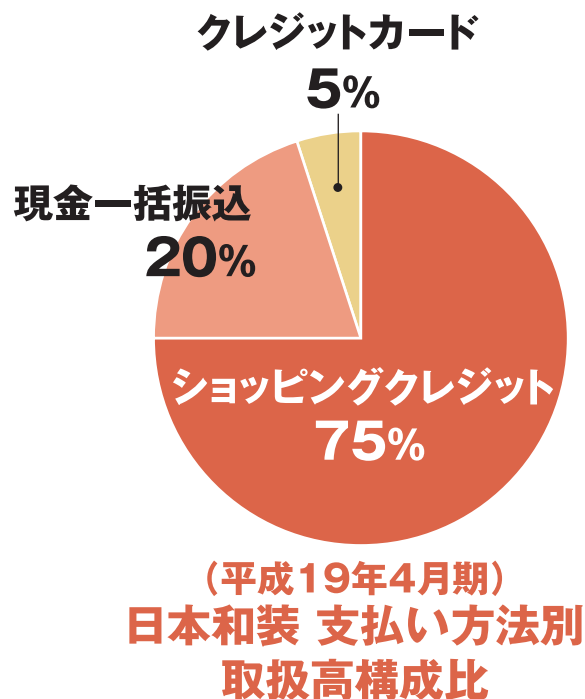


きもの業界正絹・主要アイテム別推定小売市場規模  
(平成17年) (矢野経済研究所『きもの産業白書』2007年版)



## 日本和装での支払い方法の実態

日本和装における、受講者・修了生などによる、きもの・帯購入時の支払い方法別の割合や、ショッピングクレジット契約回数などから、無理のない“きものショッピング・スタイル”の実態が見えてきます。



# 日本和装事業のさらなる可能性を追求

日本和装の新しい部署として平成19年3月1日、「マーチャライジング局」が発足しました。まだあまり世に知られぬ、比較的小規模なメーカーが製造する優れたきものや帯の発掘をめざしています。



**小さくてもキラリと光る、  
きもの・帯メーカーさんへ。**

新規枠で新しい協力メーカーを募集します。

小規模なメーカーの優れたきものや帯を、消費者の皆さんの身近へと動かすお手伝いのできたらと考えています。  
くわしくは、日本和装マーチャライジング局(担当/斎藤)までお問い合わせください。  
Tel:075-811-0079 (月~土9:00~18:00・日祝除く)  
メールアドレス:md@wasou.com

「4ヵ月間無料きもの着付教室」  
20年の歴史と12万2千人の修了生  
日本和装は、日本の大切な文化の1つでもある「きもの」のPRを主な事業目的としており、その「4ヵ月間無料きもの着付教室」は産地組合などからの後援と、全国の卸売業者や協力企業約50社からの広告および手数料収入で運営されています。この専期受講者募集のため、女優・岡江久美子さんをテレビCMなどに起用しています。

きもの消費者としての基本を学ぶ  
「きものセミナー」と「帯セミナー」  
「4ヵ月間無料きもの着付教室」では、全15回のカリキュラムのうち、消費者としての基本知識を学ぶ「きものセミナー」「帯セミナー」が各1回、実施されています。日本和装に協力してくださるメーカーの皆さんからのお話に、強い関心をもって耳を傾ける受講者も多く見受けられ、ほぼ半数の方が購入もされます。

装う心を、日本のすみずみへ。  
**日本和装**  
www.wasou.com

日本和装ホールディングス株式会社  
本社/福岡市中央区大名2-12-15 赤坂ゼンビル6F Tel. 092-733-0041  
本部/東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビルディング新館6F Tel. 03-3216-0070

JASDAQ  
(証券コード:4849)

平成19年3月5日 京都新聞(朝刊)

## 注意事項

本資料は平成19年4月期業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は平成19年4月末日のデータに基づいて作成されております。本資料に掲載された、意見、予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

### ■本資料に関するお問い合わせ先

日本和装ホールディングス株式会社 <http://www.nihonwasou.co.jp>

IR担当

東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビルディング新館6F

TEL 03-3216-0070 FAX 03-3216-0057